東京工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	情報工学ゼミナールⅡ	
科目基礎情報						
科目番号	0016		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	4		
教科書/教材	各研究室・テーマごとに提示					
担当教員	松林 勝志					
到達目標						
課題を自ら進めることができる。 成果・関連する情報についての資料を作成することができる。 成果を発表することができる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
課題を自ら進めることができる。		十分な成果が得られている	成果が得られている	成果が不十分である		
成果・関連する事項についての資料類を作成することができる。		十分な資料類を作成出来ている	資料類が作成できている	資料類が不十分である		
成果を発表することができる。		十分な成果発表が行えている	成果発表が行えている	成果発表が不十分である		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	プレゼンテーション能力、報告書の書き方を身につける。 学生個人別に異なるテーマを各研究室で与え、課題に取り組むことによりこれらに関する実践能力や準備を行う能力を身につける。					
授業の進め方・方法	卒業研究に取り組む前の準備として位置づけられる。 研究などにつながる内容を行い、卒研だけでなく将来技術者として活躍するときに必要な能力を身につける。					
注意点	課題に取り組む際には、単に指導されたことを実行するだけでなく、これまでの学習の取り組みの振り返り、自ら作業量を見積もりスケジュールを設定して取り組むこと。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス ゼミナールの準備	ゼミナールの概要を知る。		
		2週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		3週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		4週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		5週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		6週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		7週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		8週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
	4thQ	9週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		10週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		11週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		12週	ゼミナールの実施	自主的に課題を進めることができる。		
		13週	発表資料の作成	効果的な成果プレゼン資料を作成することができる。 関連する情報についての資料を作成することができる。		
		14週	発表の準備	発表のための練習を行うことができる。		
		15週	成果の発表	自分の行ったことを発表できる。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	専門的能力 の実質化	PBL教育	PBL教育	工学が関わっている数々の事象について、自らの専門知識を駆使して、情報を収集することができる。	3	
				集められた情報をもとに、状況を適確に分析することができる。	3	
				与えられた目標を達成するための解決方法を考えることができる。	3	
				状況分析の結果、問題（課題）を明確化することができる。	3	
				各種の発想法や計画立案手法を用いると、課題解決の際、効率的、合理的にプロジェクトを進めることができることを知っている。	3	
各種の発想法、計画立案手法を用い、より効率的、合理的にプロジェクトを進めることができる。	3					
評価割合						
	報告書など	取組成果	発表			合計
総合評価割合	34	33	33	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	34	33	33	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0